



ただ今、次のための準備中、楽しい作業です。

夏の企画展「貝弁の近代化を進めてくれた企業さん」と染物体験「手ぬぐいづくり」が終了し、次の準備を進めています。当館が目標としていることは、「貝弁の歴史とふるさとの心」に触れる機会をつくることなので、企画展と体験学習を通じておかしの人々が大切にしていたやんわりした生活を味わいます。次回の体験教室は、昭和の子どもたちの遊びであった竹とんぼなどをつくりまします。最近はナイフを使うことも減ってきましたが、鉛筆を削ることから取り組んで・・・などと構想を考えながら、三人のスタッフでいろいろなものを試作しています。小学校のころ祖父や父に教えてもらったことを思い出しながら竹を削るうちに、資料館は企画会議を超えてちょっとした職人の工房みたいになっています。プランが完成しましたら「体験教室のご案内」でお知らせします。



肥後守(ひごのかみ)で
遊んでいます！



昭和の子どもの宝物「肥後守」

むかしは最もリーズナブルなナイフといえば「ひごのかみ」で、駄菓子屋さんや文具屋さんにありました。ちゃんと研げばよく切れます。「手入れが悪いと手を切っちゃうぞ」と教えられました。今でもホームセンターやネットなどで売られています。



藍の花が咲きました

一年を通じて楽しませてくれている藍です。もう一度か二度ほど「生葉染め」をやってみようと地域の方々と予定をしていたところ、季節が進み寒暖の変化が大きいと感じているうちに、藍の先に薄いピンク色の花が咲きそろいました。やがてたくさんの種を付けて来年に備えます。本当にすごい数の種が取れますので、ぜひ、もらってください。

